

AI時代を生きる子どもたちに、創造する力を!



新刊

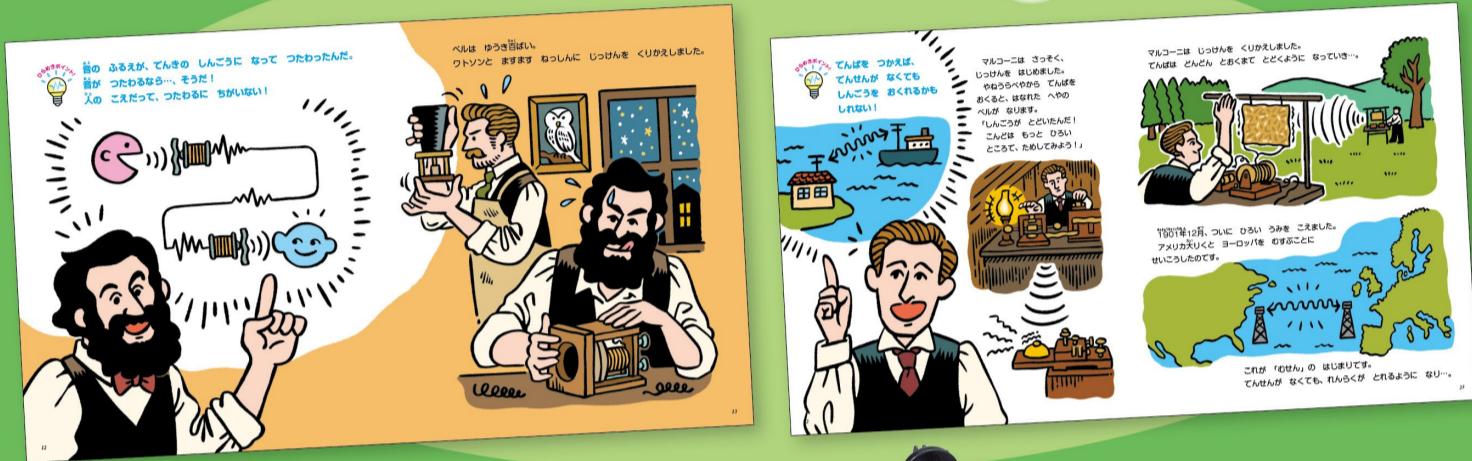
5・4歳児
クラス向け

各月定価 700円
(本体 637円)
25×21cm・28ページ
ハードカバー

漢字使用
小学校
一年生の

ひらめき! はつめい ものがたり

★ひらめきポイントをわかりやすく紹介



★今につながる発明の変遷を! 写真資料も満載。



「こうしゅうでんわ」
って なに?

お金や、「テレホンカード」というカードを入れると、だれでも「てんわ」をかけることができるよ。ていてんのときでも、かけることができるし、さがいのときなども、つながりやすいよ。いまは、かずが、すぐないけど、けたいてんわがなかったころは、町の中にたくさんあったんだ。

★コラムも充実

「もしもし」のひみつ

てんわをかけるときに、よびかける「もしもし」は、「これからはなしますよ。」と「いまの、「もうします、もうします。」がみじかくなったものといわれているよ。



「110」と「119」は、おまわりさんなくてもかけられるよ。

偉大な発明の「ひらめき!」を集めた物語シリーズ

◆配本予定表 一年間こんな内容でお届けします！

4月	でんわ	子どもにとても身近で魅力的なスマートフォン。そのスマートフォンは、元をたどれば電話です。線がつながっていた電話と無線の発明を中心に、電話の変遷をたどった1冊です。
5月	ひこうき	空を飛びたいという夢は、はるか昔から人間の夢で、飛行機は憧れの乗り物です。飛行機の発明が、身近な鳥の観察から始まっているのは興味深いエピソードです。
6月	食べもの① (アイスクリーム・あんパン)	みんなが大好きなアイスクリームは、大昔、山から雪をとってきたことが始まりでした。日本であんパンを発明した木村親子のエピソードとともにご紹介します。
7月	てつどう	鉄道は、2本のレールの「鉄の道」を走ります。鉄道には、「車輪」「レール」「動力」と、発明のひらめきポイントがたくさんあり、なるほどとの内容です。
8月	えいが	もともと映画は「動く絵」、子どもたちが大好きなアニメーションから始まっています。発明の元となった「残像」を利用した遊びなども紹介します。
9月	インスタントラーメン	発明の源には、戦後の、貧しく食べるものが少なかった時代を経験した、安藤百福のやさしさがあります。「誰もが簡単に食べることができるもの」とは？

10月	みのまわりのもの① (てんじなど)	点字は、実は身の回りのいろいろなところにある、とても大事なものです。その発明には、当事者の切実な願いがあったことを知りたいだけたらと思います。
11月	食べもの② (おしつ・カレーライス)	子どもたちに人気の食べもの、おしつとカレーライス。それぞれ、どんなひらめきから生まれたのでしょうか。「食べたい！」という気持ちの詰まったエピソードです。
12月	テレビ	スマートフォンで動画も当たり前の時代ですが、テレビが見られるまでにはいろいろな変遷がありました。世界初の技術を開発した高柳健次郎のエピソードも登場します。
1月	じてんしゃ	子どもたちにとって自転車は一番身近な乗り物といえるかもしれません。ひらめきの歴史とともに、変化していく自転車の形のおもしろさにも注目してください。
2月	みのまわりのもの② (そうじきなど)	家の中にあるもの（掃除機やマジックテープ、くっつかないヨーグルトの蓋など）を取り上げる予定です。いつも目にしているもののひらめきの物語です。
3月	でんとうほか (エジソンのはつめ)	世界の発明王といえば、エジソンです。「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」という名言とともに、「ひらめき」と「努力」のすばらしさを伝えます。



5月配本「ひこうき」

STEM教育の
(科学 [Science]
技術 [Technology]
工学 [Engineering]
数学 [Mathematics])

入り口としても
ぴったりの
シリーズです！

お兄ちゃん・お姉ちゃん
にもおすすめ！

小学校低学年でも
楽しめます。